



かとう しょうご
加藤 将伍

健康寿命延伸に注力した施策は、地域の
活力・財政の持続可能性にも直結する

「健幸のまち」の実現に向けた行政の役割は

答弁 健康づくりの支援、健康寿命延伸が、医療費・介護給付費の抑制につながる

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 市民1人当たりの介護給付費の現状とその
推移、県平均との比較についての見解は。

答 昨年度約23万4,000円、増加傾向だが、県平
均より約4万円少なく、他団体に比べて元気
な高齢者、要介護度が軽度な方が多いと考える。

問 健康寿命の延伸やフレイル（虚弱）予防を目的
とした介護予防事業における成果を伺う。

答 ロコトレ教室、はつらつ健幸教室、くりくり
元気体操に、昨年度延べ約3,700人が参加。
県と比較し、高齢化率が高いわりに、介護認定率
が低い状況は、これらの事業成果により、認定率
の上昇を効果的に抑制しているものと推測する。

問 若年層や子育て世代に向けて、アプリなどの
デジタル技術を活用した健康支援の展望は。

答 埼玉県が実施する、「コバトン^{あるこう}ALKOOマイ
レージ」の活用を推進している。今後は、
新しい健康づくりの取り組みを促すアプリ開発等
デジタル技術を活用した健康支援も研究していく。

問 健康増進アプリや予防施策を多くの若年層や
子育て世代に周知を広げる方策として、登録
者数が2万人を超える市の公式LINE等、SNSによ
る積極的な情報発信が効果的と考えるが見解は。

答 SNSを活用し、各種健康づくりに関する事業
の紹介や健康づくりの提案に取り組んでいく。



あらい ひとし
新井 均

優秀な「人財」を日高市に集める
職員の働き方改革

フレックスタイムの導入は

答弁 時差出勤制度の導入後に研究したい

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 土・日・祝日の日直職員の手当額と、他市で
導入が増えてきている日直の外部委託を行う
考えは。

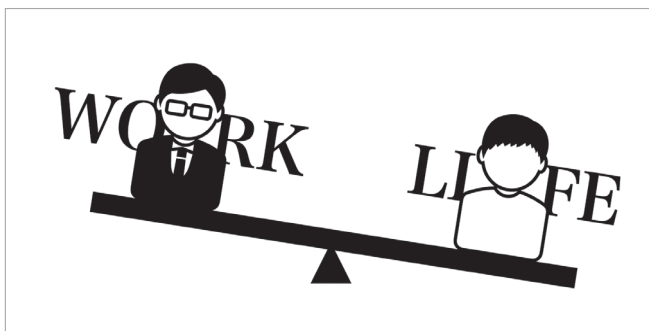
答 勤務1回につき宿日直手当4,400円（年末年
始は1万3,200円）を支給している。外部委
託については、メリット・デメリットを整理し、
導入可否の検討を進める必要がある。

問 「人財」確保のため窓口開庁時間の見直しを
行う自治体が増えてきている。本市の考えは。

答 住民票のコンビニ交付やオンライン申請等の
取り組みを一層充実させつつ労働条件を総合
的に整える。今年度末を目途に結論を出す。

問 カスタマーハラスメントを防止し、働きやす
い市役所をつくる今後の取り組みは。

答 人事院勧告で「組織として対応し、内容に応じ
て迅速かつ適切に職員の救済を図ること」が
示されている。この趣旨を踏まえ対策を検討する。



労働環境整備が「人財」を日高に集める